

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	国指定文化財管理費補助金	開始 年 度	平成3年度
団 体 名	宗教法人函館ハリストス正教会 他4団体 (5件)		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市国指定文化財管理費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	文化財保護法に基づく重要文化財に指定されている建造物について、その所有者が行う防災設備（火災報知設備、消火設備、避雷設備等）の保守点検に要する経費を補助する。
目 的	(目 的) 重要文化財所有者の管理費の軽減および防火管理体制の維持向上を図る。
・ 効 果	(効 果) 防火管理体制が向上し、貴重な重要文化財の保護・保存が図られ、また、管理費の軽減により所有者の文化財保護行政の理解を深めることができる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		自己資金				計
		市	その他					
収	26	189		193				382
	27	198		204				402
	28	198		204				402
入	29	202		207				409
	30	169		174				343
支 出	年 度	事業費						計
	26	382						382
	27	402						402
	28	402						402
	29	409						409
	30	343						343

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	国指定文化財管理費補助金
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	適正な防火管理が図られ、火災等による焼失、延焼を未然に防ぐなど、市民の財産である重要文化財の保護・保全を図ることが出来る。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	重要文化財の所有者は、消防用設備の設置と有資格者による設備点検が義務づけられており、その維持管理の万全を期するためにも必要な事業である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	経費の一部を補助することによって防災設備保守点検の履行の動機付けとし、維持管理の万全を期することを目的としているため、自主自立を求めることは馴染まない。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	民間所有の重要文化財であり、その所有者に義務付けられた維持管理であるため、市が直接、設備点検を行うことにはならない。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

